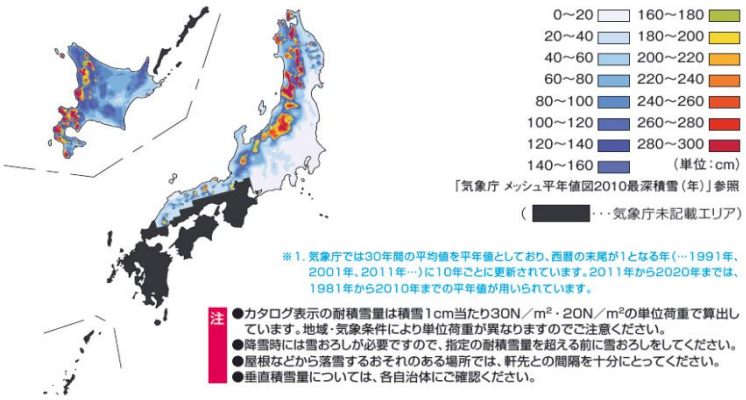
強度一覧表

耐積雪荷重	耐積雪量（雪おろしの目安） 単位荷重 30N/㎡の場合（積雪1cm当たり）	耐積雪量（雪おろしの目安） 単位荷重 20N/㎡の場合（積雪1cm当たり）	基準風速（V0）	商品名	地表面粗度区分
600N/㎡	約20cm	約30cm	34m/s相当	Mシェード Ⅱ 上吊り	Ⅲ地区
				Mシェード Ⅱ 梁置き（片側支持）	
				エアロシェード	
				U.スタイルアゼスト片側支持	
				ダブルフェース	
				フォーグ	
				エクオーレNex・エクオーレNexミニタイプ	
				スカイリード片支持（耐積雪量20cm仕様）	
				ニューマイリッシュ・ニューマイリッシュミニタイプ	
				セルフィ・セルフィミニタイプ	
				カムフィエース・カムフィエースミニタイプ	
			36m/s相当	U.スタイルアゼスト両側支持	
				スカイリード両支持（耐積雪量20cm仕様）	
				X. スタイル	
			38m/s相当	Mシェード Ⅱ 梁置き（両側支持）	
900N/㎡	約30cm	約45cm	36m/s相当	フォーグZ	
				ニューエクオーレZ（耐積雪量30cm仕様）	
				カムフィエースZ（耐積雪量30cm仕様）	
			38m/s相当	スカイリード片側支持（耐積雪量30cm仕様）	
			46m/s相当	ビームス・ビームスミニタイプ（間口55・60／耐積雪量30cm仕様）	
1500N/㎡	約50cm	約75cm	38m/s相当	Mシェード Ⅱ（耐積雪量50cm仕様）	
				U.スタイルアゼスト（耐積雪量50cm仕様）	
				ニューエクオーレZ（耐積雪量50cm仕様）	
				スカイリードZ（耐積雪量50cm仕様）	
				カムフィエースZ・カムフィエースZミニタイプ（耐積雪量50cm仕様）	
				G1-R（耐積雪量50cm仕様）	
				ツインZ4（耐積雪量50cm仕様）	
3000N/㎡	約100cm	－	38m/s相当	スカイリードZ・スカイリードZミニタイプ（耐積雪量100cm仕様）	
				ツインZプラス（耐積雪量100cm仕様）	
				G1-R（耐積雪量100cm仕様）	
				ツインZ4（耐積雪量100cm仕様）	
			46m/s相当	ビームス・ビームスミニタイプ（間口30／耐積雪量100cm仕様）	
4500N/㎡	約150cm	－	38m/s相当	スカイリードZ・スカイリードZミニタイプ（耐積雪量150cm仕様）	
				アトラード	
				G1-R（耐積雪量150cm仕様）	
				ツインZ4（耐積雪量150cm仕様）	
6000N/㎡	約200cm	－	38m/s相当	G1-R（耐積雪量200cm仕様）	
				ツインZ4（耐積雪量200cm仕様）	

積雪量について

■年最深積雪（1981～2010年の平年値※1）

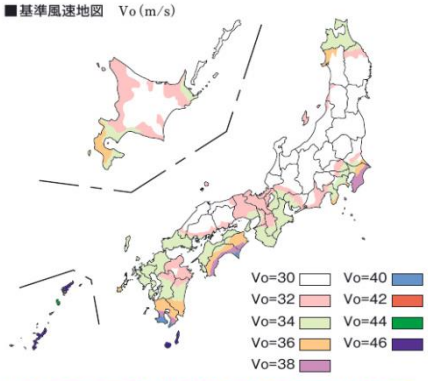


※1. 気象庁では30年間の平均値を平年値としており、西暦の末尾が1となる年（…1991年、2001年、2011年…）に10年ごとに更新されています。2011年から2020年までは、1981年から2010年までの平年値が用いられています。

注
- カタログ表示の耐積雪量は積雪1cm当たり30N／m^2・20N／m^2の単位荷重で算出しています。地域・気象条件により単位荷重が異なりますのでご注意ください。
- 降雪時には雪おろしが必要ですので、指定の耐積雪量を超える前に雪おろしをしてください。
- 屋根などから落雪するおそれのある場所では、軒先との間隔を十分にとってください。
- 垂直積雪量については、各自治体にご確認ください。

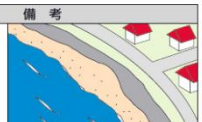
基準風速一覧表

■基準風速地図　Vo（m/s）



平成12年建設省告示第1454号に基づき、当社独自に色別に区分した地図です。
設置条件や設置場所により実風速が数値以上になる場合があります。

地表面粗度区分

地表面粗度区分		備　考	
Ⅰ	都市計画区域外で極めて平坦で障害物のないものとして特定行政庁が定める区域。	沿岸地域	
Ⅱ	都市計画区域外で地表面粗度区分Ⅰ以外の区域。（高さ13m以下の場合を除く） 都市計画区域内で地表面粗度区分Ⅳ以外の区域で海岸線・湖岸線までの距離が500m以内の地域。（高さ13m以下の場合を除く）	田園地域（高さが13m以下は、関係なし）	

地表面粗度区分		備　考	
Ⅲ	地表面粗度区分Ⅰ、ⅡまたはⅣ以外の区域。	一般地域（建築物の多くはⅢ地区）	
Ⅳ	都市計画区域内で、都市化が極めて著しいものとして特定行政庁が定める区域。	都市部	